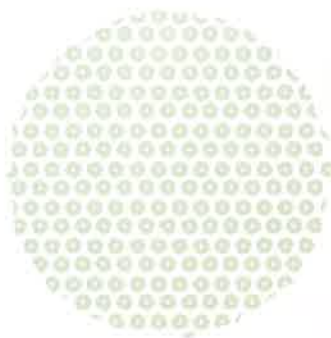


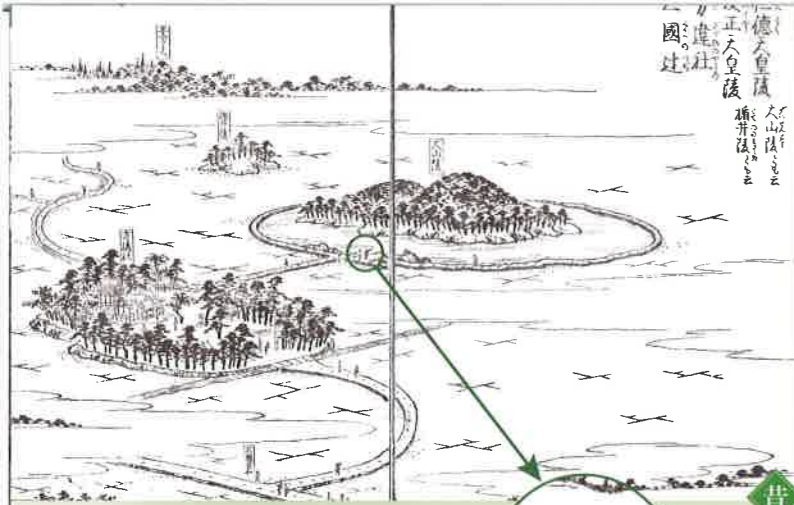
堺市  
歴史的風致  
維持向上  
計画



堺の歴史的風致

# まなびのススメ





徳大皇陵  
正入皇陵  
和泉名所図会  
1796年



仁徳天皇陵古墳群



和泉名所図会 (1796年)  
江戸時代に描かれた名所図会にも古墳を訪れる人が描かれています。

## 百舌鳥古墳群の周遊

百舌鳥古墳群周辺の情景は短歌にも詠まれています。僧・国学者である契沖(1640~1701)の「山のみ見ゆるもす野のみさぎに高津の宮の音をおもふ」などが知られています。近世から今に至るまで、地域の人々をはじめ多くの人々が、仁徳天皇陵古墳をはじめとする全国有数の規模を誇る古墳群を訪れ、巨大な古墳を造りえた大王の存在に畏敬の念を抱くなど、特別な思いをさせてきました。

## 月見祭・百舌鳥精進

月見祭は旧暦8月15日の「仲秋の名月」に近い土日に開催されます。「ペーラペーラベラショッショイ」の掛け声で、朱色の布団を5段重ねにした勇壮なふんどん太鼓が町中を練り歩きます。百舌鳥八幡宮の秋祭りである月見祭や、正月に氏子の間で今も行われる百舌鳥精進の風習を通して、地域の人々がひとつになるとともに、伝統・文化・歴史を大切にしている心が今もなお地域に根付き、守り継がれています。



月見祭



百舌鳥精進は年始から小正月の15日まで肉を食べないというこの地域に伝わる風習です。



月見祭(昭和30年)

## 神輿渡御

毎年8月1日に行われる環濠都市内最大の夏祭り。住吉大社から宿院頓宮へ神輿行列が渡る神輿渡御、通称「おわたり」です。宝永元年(1704)の大和川付け替えまで、堺と大坂は地続きでした。現在でも「堺の住吉さん」と呼ばれているように堺のまちと深い関係にあります。住吉祭の神輿行列は住吉大社を出発し、数百メートルにも及ぶ列をなしながら紀州街道を南へ進み、日が暮れかけた頃、御旅所である宿院頓宮へと神輿が到着します。盛大な祭りの様子と賑わうまちなみの中で伝統の重みを伝え、海とともに歩んできた堺の人々の信仰心を感じることができます。



反橋を渡る大神輿



大和川での「神輿渡渡式」



市内を練り歩く神輿行列



宿院頓宮での「頓宮祭」

## 歴史的風致

古代より海に開かれた堺は、海を通じて広く世界へと繋がる流通往来の拠点として発展を続け、中世には自由・自治都市として大きな繁栄を遂げています。千利休をはじめとする多才な先人達による茶の湯の大成など様々な町衆文化が開いたほか、近郊集落では個性豊かな祭礼・行事が始まりました。近世には刃物や線香をはじめとする商工業が発展し今に続いています。近代から現代にかけては鉄道網の整備に伴い、浜寺公園や大浜公園が当時の最先端の行楽地として賑わいました。これらの歴史文化と、それを支えてきた人々の活動は、各時代に築かれた歴史・文化の重層的な発展と共に良好な市街地を育み、堺の特徴ある歴史的風致を形成しています。このようなことから、本市では「堺市歴史的風致維持向上計画」を策定し、古代を起源とする『百舌鳥古墳群周辺地区』と中世を起源とする『堺環濠都市区域』を重点区域に定め、堺固有の歴史的風致の維持・向上に取り組んでいます。この『まなびのススメ』では堺の歴史的風致とともに、これまでの取組みを周辺の見所と合わせてご紹介していますので、ぜひ活用ください。本市では堺の貴重な歴史・文化をみなさまとともに共有しながら未来へと継承することをめざしてまいります。

## こおどりをはじめとする伝統行事、祭礼

こおどりは10月の5日に近い日曜日に行われる櫻井神社の秋季例大祭で奉納されます。櫻井神社は推古5年(597)の創建と伝えられ、拝殿は現存する拝殿建築の中で最も古いもののひとつとして、国宝に指定されています。こおどりのほかにも市域全域で四季を通じた様々な祭礼が行われています。地域性や自然環境に即して形成された多様な集落の中で、個性豊かな祭礼が行われ、伝統を受け継ぎ守り続ける地域の誇りとなっています。



にわだに上神谷のこおどり



にわだに上神谷のこおどり(昭和8年)

## 海浜行楽

「世に比類なし」と言われた浜寺の白砂青松。「万葉集」をはじめ、平安時代の歌題にも数多くみられます。明治6年(1873)に大久保利通が訪れた際に、歴史に名高い松林の伐採をなげき、松林の保存を説いたことから、その後、浜寺公園として開設されることになりました。古くからの景勝を今に受け継ぎ、歴史香る憩いの場として親しまれている浜寺公園や大浜公園は、各時代に行楽地として最先端を歩み、昔も今も変わることなく、多くの人々に親しまれ、その賑わいは絶えることがありません。



浜寺公園の白砂青松の庭(明治35年頃)



現在の浜寺公園  
週末は多くの人々の憩いの場に

## 茶の湯

武野紹鷗に師事し茶の湯を学んだ千利休は、茶室を小間に移行し、座敷の飾りを簡素化するなど、外見は質素であっても内面の充実を求める「わび茶」を完成させました。中世において、千利休をはじめとする堺の茶人が大きな影響を与えた茶の湯が持つ礼節やもてなしの心は、南宗寺で行われる利休忌をはじめとして、今もなお堺において広く伝わり、市内の人々が流派にとらわれることなく、茶の湯の文化にふれることができます。



利休忌(南宗寺)



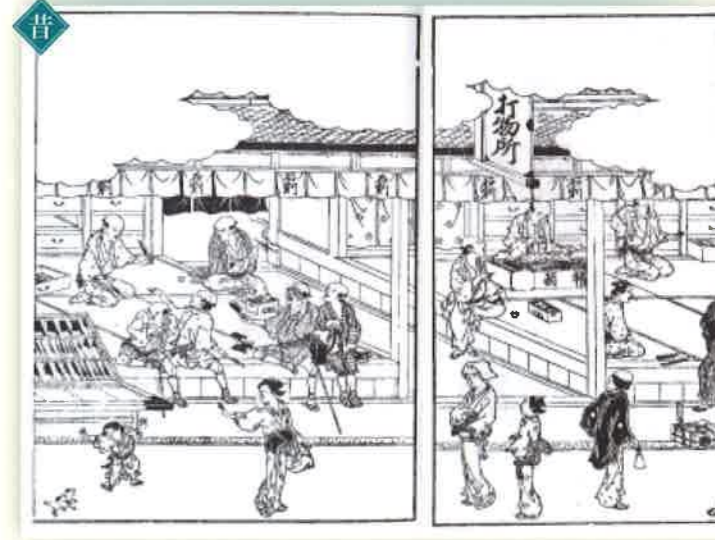
堺環濠都市遺跡から出土した茶器

## 伝統産業

環濠都市内では、江戸時代初期の「元和の町割」により基盤整備が進められたことに伴い、職人町が形成され、刃物、鉄砲、線香などの生産が行われました。その後徳川幕府は煙草店丁の職人を北部一帯に集め、出来上がった庵丁には鍛冶屋名のほかに「堺極」の印を入れて堺奉行所の保護により出荷していました。環濠都市内の町家で今も製造販売が行われ、先進性・個性・創造性を持った世界に誇る匠の技術が伝わっています。



鉄を高温に熱し、たたきつけ形づくる



刃物店の店先の様子 和泉名所図会(1796年)

# 堺環濠都市北部地区を訪ねる

現在も多くの町家や寺社が残る北部地区では、地元住民で設立した堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会と堺市が連携し、町家の修景を図りながら歴史的なまちなみの再生に取り組んでいます。



江戸時代初期の町家で、この地区を代表する歴史的建築物です。  
入館料 200円  
10:00~17:00  
(入館は16:30まで)  
休館火曜



全国で最も古い鉄砲鍛冶屋敷。  
2023年公開に向けて整備中。お楽しみに!

町家歴史館 山口家住宅(重要文化財)

堺市指定有形文化財 井上関右衛門家住宅(非公開)

## 建物修景のビフォーアフター



外見では町家とわからない建物を昔の姿に修景。一部を堺町家案内所として活用(木曜午後のみ)。



春・秋文化財特別公開  
たくさんの寺社のほか、刃物や線香などの工場や販売店が点在しています。毎年、春と秋には文化財特別公開が開催されるほか、まち歩きなど、様々なイベントも開かれます。

## 歴まちメモ①

井上関右衛門家住宅から、  
総点数2万点を越える  
古文書などの貴重な資料が発見!



# 公園で遊び、学び、くつろぐ

## ザビエル公園



●天文19年(1550)に堺を訪れた宣教師フランシスコ・ザビエルを手厚くもてなした豪商日比屋左衛門の屋敷跡付近に作られた公園。昭和24年(1949)にザビエル来航400年を記念して命名されました。  
●様々な記念碑が立ち並び記念碑の森もあります。



見つけてください!  
近年の発掘調査では、「交通の要衝であり、海に開かれた中世の堺」を物語る中世の海岸線や紀州街道の跡などが公園内で見つかりました。現地では石版や石杭などでその位置が確認できます。

## 宿院町公園



●昭和25年(1950)に開設された宿院頓宮に隣接する街区公園。毎年8月1日におこなわれる神輿渡御の際には、住吉大社からの神輿行列が御旅所である宿院頓宮へ。大勢の人々が賑わいます。



知ってましたか?  
「白夜の兎群像」  
昭和38年(1963)に動物彫刻家の岩田千虎氏指導により製作。住吉大社では、住吉大神を祀った辛卯年卯月卯日に因み、兎は神様のお使いとされています。

# 茶の湯に親しむ



さかい利晶の社



伝千利休屋敷跡



●さかい利晶の社では、茶の湯体験施設やさかい待庵等で茶の湯文化に親しむことができます。  
●敷地内にはサイクルポートがあり、コミュニティサイクルと阪堺線を利用しながら周遊を楽しむことができます。  
●隣接する伝千利休屋敷跡には檜の井戸や利休ゆかりの大徳寺山門の古材で建てられた井戸屋形があります。

## 歴まちメモ②

「堺茶の湯まちづくり条例」を制定しました。  
堺市には茶の湯を育む  
文化があります。



茶の湯体験の様子

# 阪堺電車で巡る

## 「チン電」の愛称で親しまれる阪堺電車



「堺トラム(紫おん)」(低床式車両)

「チン電」の愛称で親しまれてきた阪堺電車。今も昔も堺の人々の移動手段として活躍してきました。環濠都市の中心部を通るので環濠都市の観光にもびったり。低床式車両も導入され、ますます利用しやすくなりました。



宿院停留場



「大浜潮湯及び劇場」(大正~昭和初期頃)  
昔、賑わいを見せた大浜潮湯の懐かしいデザインを取り入れた、歴史を感じさせる停留場に生まれ変わりました。

## 歴まちメモ③

「堺伝統産業会館」では刃物、線香、和菓子などの展示販売のほか、体験イベント等も定期的に開催しています。アクセスには阪堺電車が便利です。  
(妙国寺前停留場)



堺伝統産業会館



体験講座の様子

# 堺環濠都市区域

## 歴史文化資源がいっぱいの町

- 堺を代表する歴史的建築物の山口家住宅と清学院、井上関右衛門家住宅(鉄砲鍛冶屋敷)があります。
- 堺環濠都市北部地区は第二次世界大戦の戦火を免れ、今も戦前の町家が数多く残ります。
- 堺打刃物や線香をはじめとする伝統産業が伝わっています。
- 千利休が大成した、茶の湯文化に触れることができます。
- 内川沿いには、数多くの桜が植えられ、桜の季節には美しい桜並木が見られます。




※掲載内容は平成31年3月末日現在のものです。


# 百舌鳥古墳群周辺区域

## 古墳と伝統がいっぱいの町

- 4世紀の終わりのころから古墳が造られ始めました。
- 当初は100基以上の古墳があったと考えられており、現在も残っている古墳は44基を数えます。
- 古墳の形も様々で、前方後円墳22基、方墳5基、円墳17基があります。
- 特に仁徳天皇陵古墳はクフ王のピラミッドや秦の始皇帝陵と並ぶ世界最大級の墳墓です。

快適に古墳群を周遊するには  
コミュニティサイクル(※)が便利です。

 サイクルポート

 サイクルポート  
(有人)

※コミュニティサイクルを初めて利用する方は、  
サイクルポート(有人)にて、登録が必要です。  
登録後は全てのサイクルポートで貸出・返却  
が可能です。



## 百舌鳥散歩を楽しむ



- 古墳の周遊には、観光案内所でもらえるウォーキングマップが便利です。また、周遊路は、案内サインやカラー舗装で、ルートが分かりやすくなっています。
- 仁徳天皇陵古墳(大山古墳)の拝所では観光ボランティアさんが解説してくれます。
- 日本で3番目の大きさを誇る履中天皇陵古墳(ミサンザイ古墳)には、とても見晴らしの良いビュースポットがあります。



百舌鳥古墳群周遊路



観光ボランティアガイドによる説明



履中天皇陵古墳(ミサンザイ古墳)ビュースポット

### 歴まちメモ①

百舌鳥古墳群を  
周遊するイベントが  
開催されています。



百舌鳥古墳群夏休み子どもウォーク



百舌鳥古墳群ウォーク

## 古墳を学ぶ



堺市博物館

● 堺市博物館では、堺の歴史と文化をわかりやすく紹介。館内の百舌鳥古墳群シアターでは迫力ある映像をご覧いただけます。

開館 9:30~17:15(入館16:30まで)  
一般 200円 高校・大学生 100円  
小・中学生 50円



それぞれの古墳の前には、解説板が設置され、周遊しながら古墳の概要を学ぶことができます。



### (仮称)百舌鳥古墳群ガイド施設

百舌鳥古墳群に関する学び・交流・周遊の拠点となるガイド施設の整備を計画しています。  
(2021年完成予定)



### 仁徳天皇陵古墳VRツアー

今まで見られなかった仁徳天皇陵古墳(大山古墳)の内部をVR技術で完全再現。古墳時代の人々の視点で当身を体感できます。  
(大人800円、小人500円)

## 大仙公園を満喫する



仁徳天皇陵古墳と履中天皇陵古墳に挟まれる大仙公園

- 百舌鳥古墳群の一角、世界最大級の墳墓、仁徳天皇陵古墳(大山古墳)と履中天皇陵古墳(ミサンザイ古墳)に隣接する、堺市のシンボルパーク「大仙公園」があります。
- 堺市博物館をはじめ、日本庭園や茶室など、様々な施設や古墳のある総合公園で「日本の歴史公園100選」に選ばれています。



### 古墳めぐり

大仙公園内には孫太夫山古墳など現在は10基の古墳が点在しており、隣接する仁徳天皇陵古墳(大山古墳)や履中天皇陵古墳(ミサンザイ古墳)などとともに四季折々の華花を見ながら古墳めぐりを楽しむことができます。



### 日本庭園

伝統的な日本庭園の作庭技術を駆使しながら「築山林泉回遊式庭園」という様式でまとめられ、南側大地の桃源台、南から北へ流れる石津溪、北側低地の3つの風景で構成されています。

開園 4月~10月 9:00~17:00  
11月~3月 9:30~16:30  
(入園は開園30分前まで)  
大人 200円 小人 100円



### 茶室(伸庵、黄梅庵)

堺が生んだ茶道三宗匠の一人、今井宗久ゆかりの茶室「黄梅庵」と明治・大正・昭和を通じて数寄屋普請の名匠といわれた仰木魯堂設計の茶室「伸庵」が移築されています。伸庵では気軽に呈茶を楽しむことができます。

利用時間 9:30~16:30  
伸庵 呈茶一杯 300円  
(10:00~16:00)

## 古墳群を取り巻く歴史文化を知る



重要文化財 高林家住宅(非公開)

● 主屋は天正年間(1573~1592)に建てられた府内で最も古い民家の一つ。江戸時代には「大庄屋」を務めました。



百舌鳥八幡宮

● 百舌鳥八幡宮は古代にさかのぼる由緒を持ち、社殿は江戸時代中期から後期に建てられたものです。境内には、府の天然記念物に指定される樹齢約800年の巨大クスノキがあります。

### 歴まちメモ②

多くの市民によって、百舌鳥古墳群が守られています。



堺市民の集い



百舌鳥古墳群講演会



地域の有志による清掃活動

# 堺の歴史

History

古代



百舌鳥古墳群(史跡)

中世



山口家住宅(重要文化財)

近世

近代

現代



泉北ニュータウン

## 旧石器～縄文～弥生～古墳時代

- 四ツ池遺跡で弥生時代の住居跡や方形周溝墓群がみつかかり、土器や石器が出土
- 大阪湾を臨む台地に、仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群が築造
- 陶器窯跡群で須恵器の生産が開始

## 飛鳥～奈良～平安時代

- 条里制による土地区画の推進
- 土師氏が土師観音廃寺を建立
- 行基が大野寺を建立

## 鎌倉～室町～安土桃山時代

- 堺浦が海外交易の拠点として発展
- 鉄砲が伝来し、日本最大の鉄砲生産地となる
- こおどりをはじめとする個性豊かな祭礼・行事の始まり

## 江戸時代

- 1615年 大坂夏の陣で堺の街全焼、「元和の町割」といわれる街区整備を実施
- 庖丁生産をはじめとする商工業の発展

## 明治時代～

- 1868年 堺県の設置
- 1888年 阪堺鉄道(南海本線)が開通
- 大浜・浜寺における行楽地の発展、浜寺における別荘地としての発展

## 現代

- 1945年 堺大空襲
- 臨海部埋立地における工場立地の進展や泉北ニュータウンの開発
- 2006年 指定都市移行

## <堺市へのアクセス>

- 新大阪  
新大阪駅▶なんば(難波)駅▶堺東駅  
…約40分(Osaka Metro 御堂筋線・南海高野線)
- 大阪(梅田)  
梅田駅▶なんば(難波)駅▶堺東駅  
…約30分(Osaka Metro 御堂筋線・南海高野線)
- 関西国際空港  
関西国際空港▶堺駅  
…約30分(南海線)
- 大阪国際空港(伊丹空港)  
大阪(伊丹)空港▶なんば(難波)駅▶堺東駅  
…約50分(空港リムジンバス・南海高野線)



発行元



〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL 072-228-7198(文化財課) URL <http://city.sakai.lg.jp>